

令和4年度 宮城県「体験の風をおこそう」運動推進事業 「夢・HOCKEY・inはなやま」

1 趣旨

トップアスリートの豊かな経験と高い技術に触れ、ホッケーを通して技術・知識の向上を図るとともに、望ましい生活習慣を身に付ける。

2 主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家

3 事業の概要

(1) 期日：令和5年1月6日（金）～7日（土） [1泊2日]

(2) 参加者

6団体81名（小学生23名、中学生19名、高校生13名、大人26名）

- ・ 築館スポーツ少年団
- ・ 一迫スポーツ少年団
- ・ 築館中学校ホッケー部
- ・ 栗原西中学校ホッケー部
- ・ 築館高等学校ホッケー部
- ・ 宮城クラブ

4 企画・運営のポイント

- ・ 地元出身のオリンピック3大会（ロンドン・リオ・東京2020）出場の三橋亜記選手（コカ・コーラレッドスパークス）と年代別日本代表 千葉友貴選手（天理大学ベアーズ）の2名を招聘し実施した。

5 日程

	午前				午後			夜間				
1/6 (金)								受付	夕食	技術指導①	入浴	消灯
1/7 (土)	起床	朝食	部屋点検	技術指導②	閉会行事	昼食	解散					

6 主な活動内容

参加者は、宮城県内のホッケー部に所属する小・中学生と高校生、社会人チームであった。講師に、地元出身のオリンピック3大会（ロンドン・リオ・東京2020）出場選手である「三橋亜記」選手と、年代別の日本代表として活躍し、大学に入ってから日本代表候補として合宿にも参加したことのある「千葉友貴」選手を招き講習会を実施した。三橋選手がスケジュールの都合で6日のみの参加となった。参加者は講師の説明や模範のプレーを真剣に見聞きし、意欲的に技術習得に取り組んだ。技術指導①では、基本的な動作を中心にやシュートやパスで使う細かいテクニックも指導していただいた。また、技術指導②では、ゲーム的な要素を取り入れ、指導に工夫を凝らしていただき、和やかな雰囲気の中、子どもたちは楽しく活動することができた。地元出身ということで講師と参加者の距離感も近く、アットホームな雰囲気の中、充実した事業となった。

参加者からは、「すごく楽しかった。狙ってパスを出すことなどを優しく教えてもらえて嬉しかった。」「教えてもらったことを生かし、活躍したい」等の感想を聞くことができた。指導者からは、「毎年楽しみにしている。また来年も開催してもらいたい。」「世代、チームの異なる人と交流できたのがよかった。」等の声が寄せられた。



「アイスブレイクも兼ねたウォーミングアップ」



「基礎技術をレクチャー」



「参加者へメッセージを送る三橋選手」



「参加者とゲームをする千葉選手」

7 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足：100% やや満足：0% やや不満：0% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・子供たちは充実した体験ができた、来年も開催していただければありがたい。
- ・生徒たちはよい体験ができた。
- ・毎年楽しみにしています。来年もよろしくお願いします。
- ・ホッケーファミリーが一同に集い、交流できたことがよかった。

(3) 成果

- ・多くの参加者があり、第一線で活躍する選手の指導を真剣に聞き、楽しみながら取り組んでいた。
- ・トップアスリートの高い技術を体験したことで、技術を習得するきっかけとなった。
- ・各年代、多くの参加者があったことで、互いに声を掛け合うなど、参加者同士の交流場面が見られた。
- ・トップアスリートと一緒に練習やゲームをすることで、よいプレーが出たときには直接声をかけてもらったり、プレーに対するアドバイスを受けるなど参加者にとって有意義なものとなった。

(4) 課題

- ・新型コロナウイルスの関係で講師が急きょ参加できなくなった。今回は講師3名の計画を進めていたからよかったが、講師が不参加になる可能性もあることを想定しておく必要がある。

担当：企画指導専門職 鎌田 浩徳